

ストーリーテラーシナリオ

「不思議の国のアリス」

チュートリアル

主人公「お待ちしてました、ようこそストーリーテラーの世界へ。」

主人公「ここは数ある童話を管理し、本の歪みを浄化するための特別な場所です。」

主人公「繰り返し読まれることで本には必ずスペクター（邪悪なシミ）が宿り、物語を様々な形で歪めてしまいます。」

主人公「その歪んだ物語の本の中へ入り、スペクターを取り除いて正常な物語へ導く事（浄化）が私の「ストーリーテラー」としての役目なのです。」

主人公「しかし、ただスペクターを取り除くだけでは物語を正常に導く事が難しい時があります。」

主人公「その場合は読み手である、あなたの正しい判断が必要になります。」

主人公「・・・！」

主人公「どうやら本に歪みが発生したみたいですね、少し早いですが実践をしましょう。」

主人公「さあ、お手元の本を開いてください。私と共に本の世界へ参りましょう。」

始まりの川辺 1-1 開始

主人公「ここは「不思議の国のアリス」の世界ですね。このあたりはまだ歪みが強くないみたいだけど油断は禁物です。」

主人公「現れたわね、彼らがスペクターと呼ばれる存在です。さっそく浄化していきましょう。」

戦闘開始

始まりの川辺 1-1 終了

主人公「これでこの場所のスペクターはほとんど浄化できましたね。」

主人公「しかし変ね・・・これだけ浄化すれば多少の変化があるはずなのに特に変わった様子がないわ。」

主人公「仕方ないわね、あまり好ましくないけどこの世界の住民に話を聞いてみることにしましょう。ここが川辺なら彼女が近くにいるはずよ。」

始まりの川辺 1-2 開始

アリスの姉がオロオロしている

アリスの姉「どうでしょう…、ああどうでしょう…」

主人公が通りかかる

主人公「すみません、慌てているようですがどうかされましたか？」

アリスの姉「はい、実は私の妹のアリスがいなくなってしまったんです…」

アリスの姉「川辺の先に行ったと思うんですけど、先ほど変な生き物を見たので探そうにも怖くて…」

主人公「そうでしたか、よろしければ私がアリスを探しに行きますよ。」

アリスの姉「え、いいのですか?!」

主人公「ええ、その変な生き物についても専門家としてちょうど調べているところなので大丈夫よ。」

主人公「この辺りは危険なのであなたは安全な場所に避難してください。」

ここで白ウサギが駆け抜けていく

白ウサギ「大変だ大変だー！」

白ウサギ「このままだと遅刻するー！女王様にクリケットの打ち台にされちゃうよー！」

アリスの姉「い…今の…はなんでしょう…」

ここでスペクターが登場する（キングダムハーツのハートレスのように）

アリスの姉「さっきの変な生き物…！」

主人公「ここは私に任せてあなたは早く安全な場所へ！」

主人公「わかりました…アリスの事、どうかお願いします…！」

戦闘開始

始まりの川辺 1-2 終了

主人公「この先は白ウサギの巣穴のようね、彼にも話を聞きたかったけど先にいったのかしら・・・」

ここで白ウサギが駆け抜けていく

白ウサギ「大変だ大変だー！」

白ウサギ「このままだと遅刻するー！女王様にミートパイにされちゃうよー！」

主人公「・・・・・・・・・・いきましょう。」

不思議の広間 1-1 開始

主人公「ここにもスペクターが・・・、歪みも強くなっているみたいね。」

主人公「大変かもしれませんが行きましょう。」

戦闘開始

不思議の広間 1-1 終了

主人公「ふう・・・、一旦落ち着いたわね」

ハートの女王+トランプ兵がやってくる

ハートの女王「一体なんなんだい！あの生き物は！」

ハートの女王「いきなり現れたと思ったらおかしいことばかり起きて、せっかくのクリケットが台無しじゃないか！」

主人公「あなたはハートの女王ですね、お城で何かあったんですか？」

ハートの女王「何かあったってものじゃないよ！お城の中が変な形になるわ、家来たちも変になるわで仕方なく逃げてきたんだよ！」

主人公「そうでしたか、それはとても災難でしたね。」

ハートの女王「そういえばあんたはここいらじゃ見かけない顔だね、まさかあいつらの仲間かい？」

主人公「いえ、私はその変な生き物の調査にやってきたものです。」

ハートの女王「あいつらを知ってるのかい？このままじゃクリケットができないからなんとかしておくれ！」

トランプ兵「私たちからもお願いします。お城に置いてきた仲間たちが心配です。」

主人公「どうやら歪みの元凶はお城からみたいね・・・」

主人公「わかりました、あなたたちは安全な場所へ避難してください。お城へはこのまま進めばいいのですね？」

ハートの女王「そうだよ、回り道なんてしたら危ないからね。あいつらを何とかしたら家来にしてあげるからあとは頼んだよ！」

トランプ兵「ありがとうございます。そういえば先ほど白ウサギが慌てて走っていくのを見ましたよ、女王様は気づかなかったようですが。」

ハートの女王「ふん、その様子じゃどのみち遅刻だね、後で裁判にかけてミートパイの刑だ！」

ハートの女王「あ、まちがってもお城のタルトを盗むんじゃないよ！盗んだらあんたの首をちょん切ってやるからね！」

ハートの女王+トランプ兵が去っていく

主人公「いろいろ回り道をしないで済みそうね、行きましょう。」

不思議の広間 1-2 開始

主人公「進むほど歪みがひどくなってて・・・どうやらお城で間違いなさそうね。」

闇落ちトランプ兵と一緒に敵が登場

主人公「あのトランプ兵・・・様子が違う・・・？」

戦闘開始

不思議の広間 1-2 終了

主人公「体の一部がチェスの駒のように・・・それにこの空間の変わり方・・・」

主人公「どうやらこの「不思議の国のアリス」は「鏡の国のアリス」の要素が混ざる形で歪んでいるみたいね。」

主人公「お城はこの先みたいだけどアリスはいなかったわね、おそらくアリスはお城にいるのしょう。」

主人公「ですが、さっきのトランプ兵が言ってた白ウサギの事も気になるわね・・・どうしましょうか。」

選択肢を選ぶ「アリスを探す」「ウサギを探す」

「アリスを探す」を選んだ場合

主人公「そうね、アリスは物語の中心人物だから事は一刻を争うわ、急ぎましょう。」

ルート分岐「不思議の広間 2-1」へ

「ウサギを探す」を選んだ場合

主人公「そうね、白ウサギも今のトランプ兵みたいになったら大変だわ、もう少しこのあたりを探しましょう。」

ルート分岐「不思議の広間 2-1」へ

不思議の広間 2-1 開始

左に戻る形でステージが進行する

戦闘開始

不思議の広間 2-1 終了

主人公「いないわね・・・どこにいったのかしら・・・」

白ウサギが駆け抜けていく

白ウサギ「大変だ大変だー！」

白ウサギ「大切な時計がなくなっちゃったよー！これじゃ時間すらわからないよー！」

主人公「どうやら時計をなくしたみたいね、でも特にそれらしきものは落ちてなかったけどどこにあるのかしら・・・」

不思議の広間 2-2 開始

再度右に進む形でステージが進行する

道中で時計を落とす敵が出現し、時計を持って戻るか、時計の有無関係なくそのまま進むかでルートが変わる

戦闘開始

時計を持って戻った場合

白ウサギが倒れている

主人公「白ウサギさん、大丈夫ですか？」

白ウサギ「・・・」

主人公「スペクターに襲われてしまったかもしれないわね・・・、このままだとさっきのトランフ兵みたいになってしまうわ。」

主人公「そうだわ、この時計ならもしかしたら・・・」

白ウサギが元気になる

白ウサギ「うーん・・・私は一体・・・」

白ウサギ「あ！それ私の時計！返してください！」

時計とられる

白ウサギ「逃げ逃げ！早くしないと女王様にラビットフライにされちゃうよー！」

白ウサギが駆け抜けていく

主人公「・・・・・・・・・・いきましょう。」

BOSS1「アリス強へ」

時計の有無関係なく進んだ場合

主人公「他に特に気になるものはなさそうね。」

広間の先から悲鳴

アリス「きゃああっ！」

主人公「今の悲鳴はアリス・・・！？行きましょう！」

時計を持ってる場合「アリス中へ」

時計をもっていない場合「アリス弱へ」

BOSS1「アリス強」開始

主人公「あの子がアリス・・・？」

アリス「・・・コンドハシロ/ジョオウ・・・ホントニイライラスルワ」

主人公「ちょっとまって、私は白の女王ではないわ。」

アリス「アカ/ジョオウモソウダッタ、ワタシヲバカニシテ・・・」

アリス「ユルサナイユルサナイユルサナイユルサナイユルサナイ」

主人公「話してもダメそうね、とにかく浄化しないと・・・！」

戦闘開始

BOSS1「アリス強」終了

アリス倒れる

アリス「うう・・・」

主人公「まずいわね、歪みの影響を受けすぎたせいで私だけでは浄化しきれない・・・」

アリス「ね・・・え・・・さん・・・」

主人公「「鏡の国のアリス」の歪みを押し返す何かがないと・・・このままじゃアリスは・・・」

白ウサギが駆け抜けていく

白ウサギ「大変だ大変だー！」

白ウサギ「やっと城についたけど女王様が見つからない！女王様ー！」

アリスの姉登場

アリスの姉「まって！ウサギさん！」

アリスの姉「あ、あなたは川辺で会った・・・、そこに倒れているのはアリス！？」

主人公「ええ・・・アリスを見つけたけれど自我を失う程歪みの影響を受けてしまって、私の力だけでは完全に浄化ができないの・・・ごめんなさい・・・」

アリスの姉「そんな・・・！アリス！」

アリスに姉が駆け寄る

アリス「ねえ・・・さん・・・？」

アリスの姉「アリス！しっかりして！」

アリス「ごめんなさい・・・わたし・・・いいつけを守らずに遠くまでいっちゃって・・・」

アリスの姉「ううん・・・私こそあなたを守ってあげられなくてごめんなさい・・・！」

アリス「・・・」

アリスの姉「アリス・・・？ねえ返事して・・・！」

アリス「・・・」

アリスの姉「アリス・・・ほんとにごめんなさい・・・私を許して・・・お願いだから目を開けて・・・」

アリスの姉が泣く

主人公「・・・！この光は・・・！」

アリス元気になる

アリス「う・・・ん・・・」

アリスの姉「アリス！？よかった・・・！でもどうして・・・」

主人公「歪みを取り除くには不思議の国のアリスのゆかりのアイテムが必要・・・」

主人公「お姉さん、あなたの涙が歪みを取り除いたみたいね」

アリスの姉「私の・・・」

主人公「よかったわ、これでこの物語も元通りになるわね。」

アリスの姉「え？」

主人公「いえ、こちらの話です、もうあの生き物もいないはずなのでお二人とも気をつけ

て帰ってくださいね。」

アリスの姉「はい、ありがとうございました！」

白ウサギが駆け抜けていく

白ウサギ「大変だ大変だー！」

白ウサギ「女王様のパイがなくなっちゃってるよ！このままじゃ私の首がちょん切られて
代わりに時計を置かれちゃうよー！」

一同「・・・・・・・・」

GoodEnd「姉妹の絆」

BOSS2「アリス中」開始

主人公「あなたがアリスね・・・？」

アリス「ええ、私の素敵なお城へようこそ、歓迎しますわ。」

主人公「お姉さんがあなたのことを探していたわよ。」

アリス「お姉さん？そんな人私にはいないわ。」

主人公「お姉さんのことを覚えていない・・・？「鏡の国のアリス」の歪みが進んでいるみたいね・・・」

アリス「何を言っているのかさっぱりわからないわ、そんなことよりも遊びましょう！」

アリス「ちょうどチェス遊びにも飽きていたところなの・・・」

アリス「だから・・・ワタシの・・・おもちゃにナッてチョウだい！」

戦闘開始

BOSS2「アリス中」終了

アリス倒れる

アリス「うう・・・」

主人公「まずいわね、歪みの影響を受けすぎたせいで私だけでは浄化しきれない・・・」

主人公「そうだわ、さっき拾ったこの時計ならもしかしたら・・・」

アリス元気になる

アリス「う・・・ん・・・ここは・・・私は一体どうしたのかしら・・・」

主人公「どうやら不思議の国のアリスのゆかりのアイテムなら浄化ができるみたいね」

アリス「あなたはだれですか？私・・・自分のしていたことが思い出せなくて・・・」

主人公「名乗るほどのものではないわ、それよりもあなたのお姉さんが探していたわよ。」

アリス「あらほんとうに？それならこうしている場合ではないわね、すぐに帰らなくちゃ！」

暗転して広間のシーンに切り替わる

アリスの姉「アリスー！どこにいるのー！」

アリスの姉「どうでしょう……ウサギさんを追いかけてきたけど見失っちゃったわ……」

倒れてる白ウサギを見つける

アリスの姉「あ、ウサギさん！どうしたの、大丈夫！？」

白ウサギ悶落ちして起き上がる

白ウサギ「……………」

アリスの姉「ひ……！」

BadEnd]「忘れられた白兔」

BOSS3「アリス弱」開始

主人公「あなたがアリスね、やっと見つけたわ。」

アリス「こないで・・・！体が・・・いうことをきかないの・・・！」

アリス「どなたか知らないけど逃げて・・・！」

主人公「いいえ、私はあなたを助けるために来たのよ、必ずあなたを救い出してみせる・・・！」

戦闘開始

BOSS3「アリス弱」終了

アリス倒れる

アリス「うう・・・」

主人公「浄化しきれてない・・・？どうして・・・」

アリス「はぁ・・・ううっ・・・く・・・る・・・しい・・・よ・・・ねえさん・・・」

主人公「鏡の国のアリスの歪みを取り除くには別の何かが必要なの・・・？」

アリス「・・・」

主人公「アリス・・・ごめんなさい・・・私のせいで・・・」

BadEnd2「アリスのいない物語」